



編集・発行
 日蓮宗 能勢妙見山
 広報部
 〒563-0132
 大阪府豊能郡能勢町野間中
 電話 072-739-0329
 FAX 072-739-2883

初しよ 一いち 念ねん

西遊記でお馴染みの三蔵法師は仏教の經典を求めて
 遠いインドへ艱難求道の旅をしました
 日蓮聖人は釈尊の真の教えを求め弘めるために生命をかけました
 心理を求め伝える人に共通するのは出来るかできないかではなく
 「やるか、やらないか」の志の有無です
 何事も最初の志「初一念」が重要なのです

【1月の主な行事】

☆正月歳始祈禱 1日～15日

※新年の開運シールを授与

★書き初め写経会 14日(日)11時

★清掃の日 15日(月)11時

★月例祈願法要 15日(月)13時

妙見様のご縁日祈願法要 開運殿にて厳修

★鷗様月例祭 22日(月)15時 火伏せ守り札授与

【2月の行事予定】

☆節分会星祭 3日(土)

一年間の善星皆来・悪星退散を祈ります

ご祈禱の申し込み受付中です

☆国禱会くお火焚祭りく 11日(祝)10時法要

★清掃の日 15日(木)11時

★月例祈願法要 15日(木)13時

★鷗様月例祭 22日(木)15時

●2月の写経会は取りやめます

◎ご祈禱・御回向等のお申込はFAX・メールでも
 受け付けています

◎諸行事は社会情勢により変更する場合があります

◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい

◎奉賛会会員は妙見口へお迎えに行きます

詳細は寺務所へお問い合わせ下さい

※正月三ヶ日は

信徒専用のシャトルバスがあります

共によい年を！

日慧

妙見山上で迎える初日の出は格別です。夜のとばりが薄く赤みを帯び、やがて青い空をバックに山の端の雲を紅く染めながら旭日が昇り来るのは、壮大な無言劇を観ているようです。

妙見山上でのご来光スポットはいくつかあります。大勢の人たちとともに感動を味わう箇所、あるいは人が少ない特別席。それぞれにお日様と対面し、今自分がここに在るといふ思いを深く得ることが出来ます。

しかし世界に目を向ければ、初日の出に関係なく、戦禍が今も続いているところがたくさんあります。その人たちが新年をどのような思いで迎え、初日の出に何を祈っているのかと思えばのんびり日の出を楽しんでばかりはいられません。人が行なっている戦争だ

けではありません。私たちは地球温暖化という、人類がかつて経験したことのないもつとも大きな課題に直面しているのです。異常気象、洪水や干ばつ、地震や台風などの自然災害です。世界をあげて一日も早くこれを解決する方策を立てねばなりません。子供や孫たち次の世代の人々に、豊かな地球を受け渡さなくてはなりません。

すでに昔、鎌倉時代に生きた日蓮聖人は、今こそ法華経の精神を以て世の中を治めなくてはならないと言いました。その法華経の精神とはどのようなことなのでしょう。

法華経には平等大慧という教えが説かれています。たとえば、仏の慈悲の心は全ての生きとし生けるものに平等に注がれており、その教えは全てのものに説かれていて。それをたとえらると雨が万物に平等に注がれ

るようなものだと言うのです。私たちはその雨を受け、る木や草のようなもので、大木や小さな草の違いはあっても互いに他を傷つけることなく、平等に降り注がれる雨を素直に共に享受することが大切なのです。

辰年
今年辰の年。方角では東南東、季節では春を表します。春を迎えて陽気になり、春雷が鳴動し草木がすくすくと伸びる様子を表します。また星を表し、北辰などといいます。星の帝王星の帝王妙見さまに祈り、道を切り拓き大いに伸び進んでいきましよう。

《法華経に学ぶ現代》

純智庵

諸人

今當に知るべし

合掌して

一心に

待ちたてまつれ

『序品第一』

一年三百六十五日
あつという間に過ぎるけど
今年一日多いです
四年に一度の閏年です
オリンピックもありますね
世界の平和を祈りましょう
みんなが両掌を合わせれば
戦争なんて起きません
心に潤い呼び戻し
祈りましょうよ 一緒に

仏教まめ辞典

縁起(えんぎ)

吉凶の前兆、きざしとして一般に使われることが多い。たとえば不吉な言葉や行動に気をつけることを縁起を担ぐなどと言う。

このように、迷信や俗信と同じように用いられることがあるが、元は仏教の用語で、存在するものは全て他と関係し合って存在しているのだという仏の根本の教えである。生きとし生けるものはすべて、そのものだけで存在することはできない。縁によって生ずるものであり、またすべての物事は縁によって起こる。自分という存在も、他の力・他の存在、つまり生命を支えてくれる食事やそれを提供してくださる他の人々、他の生命に生かされている。したがって自分がより良く生きるには、他のすべてをよくするための努力をすることが大切なのである。